

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
A102	オーラル I	1年	講義	2	今村怜
<b>授業概要</b> 長文読解と英作文の演習を通じて英文法の使い方を学ぶ。課題英文はいずれも日本の地方を英語で解説したものである。したがって、長文読解を通じて日本地理の知識の拡充を行うことになる。それと同時に、問題演習を通じて語彙力の大幅な増強を目指す。講義では文産出に重きを置き、英作文の演習を徹底的に行う。また、テキスト中の英文を利用した英会話の練習も行う。各章は2回の講義で消化していくが、講義時間の関係で扱わないセクションもある。					
<b>到達目標(学習の成果)</b> 英語の構文が正確にとれるようにし、英文法の知識を読解と作文に応用できるようになる。(DP 1) 語彙力の大幅な増強を通じて、「言いたいこと」の概略を英語で表現できるようになる。(DP 1) 長文読解を通じて日本の歴史および文化に関する理解を深める。(DP 2)					
<b>授業計画</b>					
回	表題	学修内容			
1	Chap.1. 動詞の種類と文型	5文型を理解し、正しい構造の英文が書けるように演習を積む。また、基本的な語句の理解を深める。			
2	Chap.1. Let's Enjoy Fukuoka	構造を意識しながら福岡県に関するエッセイを読む。			
3	Chap.2. 文の種類	命令文、感嘆文、疑問文の使い分けを理解する。文法問題の演習を行う。同時に語彙の拡充を行う。			
4	Chap.2. Let's Enjoy Niigata	新潟県に関するエッセイを読む。新潟の歴史について親しむ。			
5	Chap.3. 時制	時制と相の正確な使い分けについて理解する。作文との会話の演習を積む。また、基本的な語句の確認を行う。			
6	Chap.3. Let's Enjoy Shimane	英文読解を通じて島根県に関する理解を深める。			
7	Chap.4. 助動詞	助動詞、特に熟語の助動詞の理解を深める。語句の確認も行う。			
8	Chap.4. Let's Enjoy Iwate	長文読解を通じて岩手県に関する理解を深める。簡単な英会話の練習も行う。			
9	Chap.5. 冠詞と数	冠詞と数の理解と深める。作文を通じて実際に使い分けられるようになる。語句の確認も行う。			
10	Chap.5. Let's Enjoy Kagoshima	長文読解を通じて鹿児島県に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。			
11	Chap.6. 代名詞	代名詞の使い方を実用面から理解する。			
12	Chap.6. Let's Enjoy Kochi	長文読解を通じて高知県に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。			
13	Chap.7. 接続詞	接続詞の使い方を理解する。特に等位接続詞と従位接続詞の違いを理解する。			
14	Chap.8. 前置詞	前置詞の‘イメージ’を作る。実際の演習を通じて前置詞の運用力を高める。			
15	Chap.8. Let's Enjoy Miyazaki	長文読解を通じて宮崎県に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。			
16	Chap.9. 能動態と受動態	受動態の機能について理解を深める。運用面からの注意点も理解する。			
17	Chap.10. 形容詞と副詞	形容詞と副詞の識別ができるようになる。同時に英文の構造の理解を深める。			

18	Chap.10. Let's Enjoy Tokyo	長文読解を通じて東京都に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。
19	Chap.11. 比較	比較構文の使い方の理解を深める。徹底的に文法問題の演習を行う。
20	Chap.11. Let's Enjoy Hiroshima	長文読解を通じて広島県に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。
21	Chap.12. 不定詞	品詞の観点から不定詞の用法を理解する。例文を通じて、用法の識別ができるようになることを目指す。
22	Chap.12. Let's Enjoy Miyagi	長文読解を通じて宮城県に関する理解を深める。宮城県の歴史と文化に親しむ。
23	Chap.13. 分詞	分詞とは何なのかを理解する。同時に、分詞構文の理解を深める。
24	Chap.13. Let's Enjoy Aichi	長文読解を通じて愛知県に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。
25	Chap.14. 動名詞	動名詞の運用に習熟する。同時に不定詞との使い分けについて理解する。
26	Chap.14. Let's Enjoy Kyoto	長文読解を通じて京都府に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。
27	Chap.15. 関係詞	関係詞の理解を深める。特に関係代名詞と関係副詞の使い分けができるようになる。
28	Chap.15. Let's Enjoy Kumamoto	長文読解を通じて熊本県に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。
29	Chap.16. 仮定法	仮定法の‘心’をつかむ。英会話の演習を通じて実際に使用できるレベルまで理解を深める。
30	Chap.17. Let's Enjoy Yamanashi	長文読解を通じて山梨県に関する理解を深める。日常的な英会話の練習も行う。

準備学修(授業外の自己学修)

予習段階でテキストの演習問題を解いてくること。特に Reading セクションの課題英文は、講義の前に読み込んでくること。授業後は復習を通じて文法の理解と単語の暗記に努めること。

成績評価の方法・基準(%表記)

期末試験 60% 授業態度 40%

観点	S	A	B	C
英語の構文力と英文法の応用	完全に身につけている	ほぼ完全に身につけている	十分に身につけている	一定程度身につけている
英語の語彙力と表現力	完全に身につけている	ほぼ完全に身につけている	十分に身につけている	一定程度身につけている
日本の歴史および文化に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

Enjoyable Tourist Brochure for English Writing Tetuzo SATO / Yoshiteru KOTEGAWA / Mayumi KIDO / Yoshie SHIMAI / Fumiko SHIMOSONO / Gen-ichi ISHIKAWA / Kaye Tekeda 南雲堂 2000 円＋税

参考書等

特になし

履修上の注意・学修支援

初回からテキストを使用するので、講義の前に購入しておいてください。(電子)辞書は必携。辞書代わりにスマホを使用することは認めません。なお、語用論的に不自然な例文が練習問題の中に混ざっているので、どの例文が「実用的」かは講義中に指摘します。例文暗唱の際の参考にしてください。また、板書を多用しますので、必ずノートと筆記用具を持ってきてください。講義中のパソコンの使用は認めません。